

横浜市立荇田西小学校

3月号

荇田西小だより

令和6年2月29日

校長 矢崎 純一

「一年間を振り返って」

一年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。令和5年度も最終月となりました。

さて、この一年間のお子様の成長ぶりはいかがだったでしょうか。身長や体重のような成長だけでなく、「計算ができるようになった」「鉄棒の逆上がりができるようになった」「タイピングができるようになった」など数値や結果として見える成長や、「好奇心」や「想像力」、「やりぬく力」などの「非認知能力」の成長を感じることができたことと思います。この「非認知能力」は、一人で机に向かい獲得できるものではなく、人と人との豊かな関わりの中で身に付くと言われていています。新型コロナウイルス感染症の感染上の分類変更に伴い、教育活動の制限がなくなり、出前授業として「音楽」や「生活科」、「総合的な学習の時間」などで多くの講師の皆様をお招きすることができました。子どもたちは、その講師の皆様との豊かな関わりの中で学びを深め、友達と協力し合って活動をしたり、時には友達と折り合いをつけるために交渉や調整を試みたりしながら「他者との豊かな関わり」を通して非認知能力を伸ばすことができたと考えています。

最近では、この非認知能力の大切さが着目され、幼いときから育むことが推奨されています。幼児期から学童期にかけての子どもは、新しいことに挑戦する力や多くのことを吸収する力に長けており、様々な非認知能力を育みながら、多くの力をバランスよく伸ばしていくことができる時期とも言えます。

子どもたちが生きるこれからの社会は、環境や社会が大きく変わり、様々な面で多様化していくことが予測されています。このような時代だからこそ、解が一つではない課題等にも主体的に向き合い、人間ならではの感性を働かせることが必要となります。自分の可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生を創っていくことのできる力を育むことが求められています。

一年を締めくくるこの時期は、学校としても一人ひとりの子どもの成長を見つめるとても大切な時期です。本校では、教科担任制を実施しており、より多くの教職員の目で子どもたちの様子を見ることで子ども一人ひとりの資質・能力を伸ばすことができるよう努めています。そして、担任は学級の子ども一人ひとりがこの一年を通じてどれだけ成長できたかを日々の実践記録を通じて確認します。各ご家庭におかれましても一年前の4月を思い起こすと、できるようになったことがたくさんあるお子様の成長に気付くことと思います。

1年生から5年生までの在校生には、この一年間の成長を次への更なる成長へとつなげ、そして、この春に荇田西小学校を巣立っていく卒業生には、これからの成長と夢の実現に向けてエールを送ります。

末筆ながら、この一年間を振り返り保護者の皆様をはじめとして、学校協力者並びに地域の皆様には心より感謝を申し上げます。